

わかやま未来学副専攻 ～地域協働演習を通して学んだこと～

和歌山大学観光学部3年長尾朋美

地域協働演習A

和歌山城を利活用する

2年前期では、和歌山城を活用して散歩コースを立案した。市役所の方から話を聞き、和歌山城の歴史や、フィールドワークを通して周辺の地形を学んだ。和歌山城は一年を通して四季折々の景色が楽しめることに気づき、4つのコースを考えた。常に当事者意識を持って取り組むことで、より和歌山市を盛り上げていきたいという意識の変化を持つことができた。

地域協働演習B・C

京橋親水公園を利活用する

2年後期では、京橋親水公園を活用してランチマップを立案した。メンバーと共に現地調査を数回行い、公園の周りはオフィス街が多いことやランチで何人か利用していることに気づいた。毎週、プレゼンで企画を発表していたため、相手に伝える力や聴く力がこの授業を通して身に付けることができた。

反省・advに向けて

今まで、学内で地域のことを受動的に学ぶことが多かったため能動的に動くことが少なく自分から進んで動くことができなかった。advでは、インターンシップに参加し自分から仕事を見つけて動いたり、企画を考えたりするため、実行力や企画力、コミュニケーション力を磨きたい。

地域共同演習adv

紀州まちづくり舎へのインターンを通して

フライヤー作成

てとこと市で毎月発行しているフライヤーを制作した。フライヤーをデザインすることが初めてであったため計画通りにいかず難しい場面もあったが、諦めないチャレンジ精神を持って取り組むことができた。過去のフライヤーに何度も目を通し、てとこと市の雰囲気やイメージを膨らませた。12月はクリスマスがテーマであったため、テーマにちなんでクリスマスらしい温かみのあるフライヤーを作成することができた。

ワークショップ企画

老若男女問わず楽しめるようにクリスマスリースを作る企画をした。今までの授業で培った企画力と相手に伝える力から企画運営を行った。費用から当日の運営方法まで、企業の方にアドバイスを頂きながら進めることができた。当日は、40人分のリースすべて完売し、たくさんの方に楽しんでいただくことができた。

